

第6学年 社会科学習指導案

日 時 平成30年7月10日(火) 第6校時
14:30～15:15

対 象 第6学年2組 32名

学校名 練馬区立大泉小学校

授業者 教諭 西村 悠樹

1 小単元名 「戦国の世から天下統一へ」 (6時間)

2 小単元の目標と観点別評価規準

(1) 小単元の目標

○世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、絵図や年表、その他の資料を活用して、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について調べ、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、表現することを通して、戦国の世が統一されたことを理解できるようにする。

○戦国の世が統一されたことについて、学習問題を主体的に調べ、解決しようとするとともに、我が国の歴史に関心を持ち、歴史の展開を考えようとする態度を養う。

(2) 小単元の観点別評価規準

評価の観点	評価規準	学習過程の どこで
社会的事象についての知識及び技能	① キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を基に、戦国の世が統一されたことを理解している。 ② ザビエルによってキリスト教が伝えられ我が国に広がったこと、鉄砲を多用して織田信長が短い期間に領地を拡大したこと、豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を行ったことなどについて地図や年表、その他の資料を活用して調べ、文章等でまとめている。	調べる まとめる
社会的事象についての思考力・判断力・表現力等	① 歴史上の主な事象から問いを見だし、ザビエルが日本にキリスト教を伝えたことや、織田信長が勢力を伸ばした様子、豊臣秀吉が天下を統一した様子などの事象を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長・豊臣秀吉の役割を考え、文章等で表現している。 ② 織田信長や豊臣秀吉の業績や天下統一に対する思いや願いについて調べ、人物の業績をなど考え、文章等で説明したり、話し合ったりしている。	調べる 調べる
社会的事象に主体的に関わろうとする態度	① 戦国の世が統一されたことについて関心を持ち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。 ② 織田信長による領地の拡大や豊臣秀吉による政策など、天下統一への様子を調べ、天下統一に向けての織田信長や豊臣秀吉の思いや願いを考えようとしている。	つかむ 調べる

3 小単元について

(1) 新学習指導要領との関連

本小単元は新学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

- (2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 - (カ) キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解すること。
 - (シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

この内容は、戦国大名の群雄割拠の状態から、豊臣秀吉が全国統一をした頃までの学習で身に付ける事項を示している。ここでは、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一の二つの事象を取り上げる。

キリスト教の伝来については、ザビエルによってキリスト教が伝えられ我が国に広がったことなどが分かるようにする。織田・豊臣の天下統一については、ポルトガル人によって日本に伝えられた鉄砲を多用するなどして織田信長が短い期間に領地を拡大したこと、豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を行ったことなどが分かるようにする。これらのことを手掛かりに、群雄割拠の状態から戦国の世が統一されたことを理解できるようにする。ここでは、複数の人物の業績に関する情報を比べたり、結び付けたりしながら読み取る技能、調べたことを年表などに適切に整理する技能を身に付けるようにすることが大切である。

また、社会的事象の見方・考え方を働かせ、当時の世の中はどのような様子だったか、織田信長が勢力を伸ばした様子、豊臣秀吉が検地や刀狩りなどの政策を進め天下を統一した様子について調べる。これらの事象を関連付けたり統合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、文章で記述したり説明したりすることができるようにする。〈引用：学習指導要領解説社会科編〉

(2) 教材について

本小単元で取り上げる主な教材は「キリスト教の伝来」「織田・豊臣の天下統一」の2つである。教材の特徴として以下のことを考えた。

①キリスト教の伝来

イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルによって日本に伝えられたキリスト教は、鹿児島から西日本各地へ布教された。ザビエルは、2年余りにわたって、山口・京都・大分などで熱心に布教活動を行い、日本を去った。その後も、イエズス会の宣教師が続々と来日し、大名の許可を得て布教を続けていった。宣教師たちは、教会だけでなく民衆のために学校や病院、孤児院などを建てたこともあって、キリスト教の信者が急速に増えた。授業で扱う際には、キリスト教の伝来の様子を世界地図などの資料で調べる。このようにすることで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、当時の世界と日本の動きとの関連について考えるようになると考えた。

②織田・豊臣の天下統一

16世紀の後半になると、戦国大名の中に都へ上って全国の支配を目指す動きが現れた。尾張の織田信長は、駿河の今川義元を桶狭間の戦いで破った後、周囲の有力な大名を倒して勢力を広げ、京都に上り足利義昭を追放して室町幕府を滅ぼすと同時に、対抗していた比叡山延暦寺や一向宗などの仏教勢力を武力で押さえ込んだ。それ以外にも、安土に壮大な城を築いて天下統一の拠点にし、楽市・楽座の政策を行い、城下の商人たちの税を免除したり各地の関所をなくしたりして、商工業の発展を目指した。また、キリスト教には寛容な姿勢を見せ、キリスト教を保護して教会や学校を建てることを認めた。しかし、全国統一を目指す戦いの途中で家臣の明智光秀に背かれ、本能寺で命を落とした。

その信長の有力な家臣であった豊臣秀吉は、織田信長の死後すぐに明智光秀を倒し、大阪城を築き天下統一事業を進めた。朝廷から関白に任じられると、天皇の権威も利用して、全国の大名を従え、一向宗の勢力も押さえて全国を統一した。堺・博多・長崎などの貿易都市や石見銀山などの鉱山も支配し、莫大な利益によって権力を強めた。また、検地を行って年貢を納めさせたり、刀狩を行って武器を取り上げ、兵農分離を進めたりするなどいろいろなきまりをつくって、武士が強い支配権をふるう近世社会の基礎を築いた。

このような戦国の世の社会の様子や織田信長が勢力を伸ばした様子、豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を進め天下を統一した様子を取り上げることによって、歴史上の人物が当時の課題に対して様々な視点から取り組みを進めていたことに着目できるようになり、戦国の世の統一に果たした織田信長や豊臣秀吉の役割を考えられるようになると考えた。

4 教材構造図と問いの構造図

(1) 社会的事象の見方・考え方を位置付けた教材構造図を作成する。

新学習指導要領

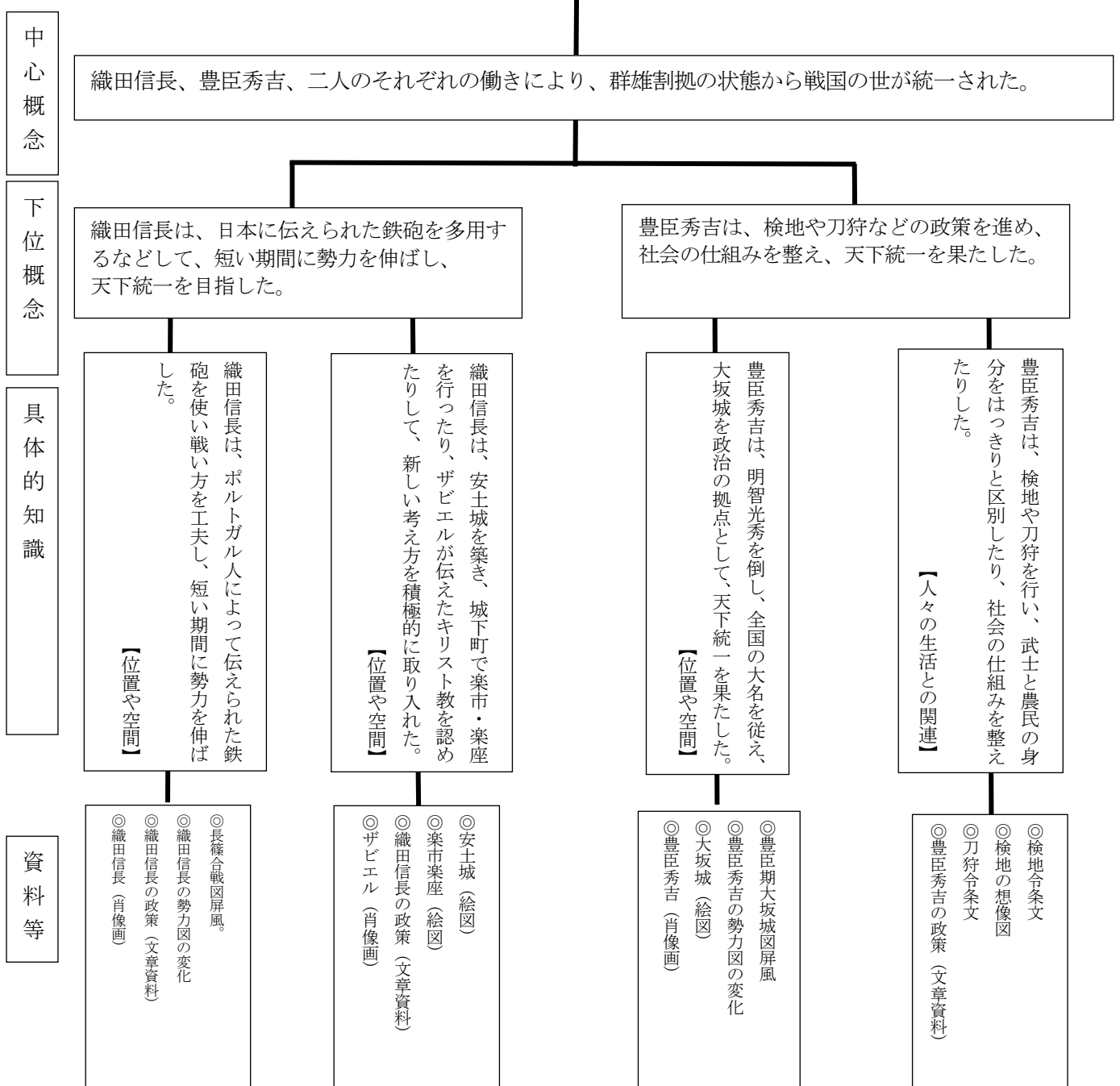
第6学年内容(2)

我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(カ) キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解すること。

ア(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。



(2) 目指す児童像を資質・能力の三つの柱から以下のように設定した。また、教材構造図との接続を図って目指す児童像に迫るために「問いの構造」を下段のように想定した。

本小单元において目指す児童像

- 各種資料を通して情報を適切調べにまとめ、鉄砲を多用して織田信長が短い期間に領地を拡大したこと、豊臣秀吉が検知や刀狩などの政策を行い、戦国の世が統一されたことを理解している児童。
- 織田信長が勢力を伸ばした様子、豊臣秀吉が天下を統一した様子などの歴史上の主な事象を関連付けて、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、表現する児童。
- 社会的事象から学習問題を見出し、意欲的に追究して解決しようとするとともに、天下統一に向けての織田信長や豊臣秀吉の思いや願いを考えようとする児童。

中心
概念

織田信長、豊臣秀吉、二人のそれぞれの働きにより、群雄割拠の状態から戦国の世が統一された。

問
い
の
構
造
と
概
念
的
知
識
の
関
係

学習問題 だれが、どのようにして、全国を統一していったのだろうか。

問い・織田信長は、どのようにして全国を統一しようとしたのだろうか。

織田信長は、鉄砲を多用するなどして戦い方を工夫し、短い間で勢力を伸ばし、キリスト教を認めたり、楽市・楽座を行ったりして、新しい考え方を積極的に取り入れて、全国を統一しようとした。

問い・豊臣秀吉は、どのようにして全国を統一しようとしたのだろうか。

豊臣秀吉は、明智光秀を倒し、全国の大名を従え、全国を統一した。検地や刀狩を行い、武士と農民の身分を区別し、社会の仕組みを整えた。

5 研究主題との関連

よりよい社会をつくらうとする子供の育成
～社会的事象の見方・考え方を働かせながら、自分と社会（政治・歴史・世界）
とのつながりを見つめ、生活に生かそうとする子供を育てる授業の工夫～

○本小单元での6年部会研究主題の捉えと目指す児童像

本部会では、全体研究主題を踏まえた上で、研究主題を「よりよい社会をつくらうとする子供の育成」とした。本小单元では「織田信長と豊臣秀吉が果たした役割を関連付けて考え、群雄割拠の状態から戦国の世が統一されたことについて理解し、先人によって作り出された歴史に関心をもつ子供」が「よりよい社会をつくらうとする子供」と捉えた。

本小単元では、6年部会の副主題「社会的事象の見方・考え方を働かせながら、自分と社会（政治・歴史・世界）とのつながりを見つめ、生活に生かそうとする子どもを育てる授業の工夫」を次のように捉えた。

① 社会的事象の見方・考え方を働かせる

本小単元では、「長篠合戦図屏風」と「大阪城図屏風」を比較し、「時期や時間の経過に関する視点」の見方・考え方を働かせながら学習することで、短期間に世の中の様子が大きく変化したことに気付けるようにする。また、キリスト教の伝来の様子を世界地図などの資料を活用して調べ、「位置や空間的な広がりに関する視点」を働かせながら学習することで、当時の世界と日本の動きの関連について考えられるようにする。さらに、戦国の世の統一に果たした織田信長と豊臣秀吉の業績について、「社会的事象や様々な立場の人々の相互関係の視点」を働かせ、ベン図に整理することで、二人の政策の共通点や相違点について考えられるようにする。

② 自分と社会のつながりを見つめ、生活に生かそうとする。

本小単元で学習した内容を、すぐに自分たちの生活に生かそうと考えることは難しい。歴史単元の学習全体を通して、先人の果たした役割についての確かな理解を積み重ね、我が国の歴史や文化を大切にしようとする心情や、歴史の展開について考え関心をもつ態度を養えるようにする。

○本小単元の手立て

(1) **社会生活についての理解を深め、社会との関わりを見つめ直す教材の工夫**

① 社会の課題を捉えられる教材の開発

長篠の戦いがあった1575年頃、日本全国で戦国大名による争いがおき、群雄割拠の状態であった。このような当時の社会の課題を捉えるために、「長篠合戦図屏風」や「戦国武将の勢力図」を教材として扱う。当時の世の中の様子を捉えた上で、織田信長や豊臣秀吉がどのように力を伸ばし、どのような政策を行って、戦国の世を統一したかについて学習できるようにする。

(2) **社会的事象の見方・考え方を働かせる指導の工夫**

問題解決の過程に即して問いを想定するとともに、対話的な学びを促す学習活動を設定し、以下の表に目指す児童像と主な教材と共に整理した。

	目指す児童像の具体的な姿と見取りの方法	見方・考え方を働かせる「問い」	教材の工夫	学習活動などの指導法の工夫
つかむ	〈目指す児童像〉 ・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことについて学習問題をつくり、学習計画を考え、表現している。	【時間的】【空間的】 ・「長篠合戦図屏風」と「豊臣期大阪城図屏風」を比べるとどのような違いがあるのだろう。 ・だれが、どのようにして、全国を統一していったのだろう。	○多角的に歴史的事象を考えられる教材 ・「長篠合戦図屏風」と「豊臣期大阪城図屏風」と「それぞれの時代の勢力図」 ⇒時間的な視点で時代の変化を比べることができる教材 ・「予想で活用する年表」 ⇒勢力の広がりを実感できる教材	○対話的に学び多角的に考えるための工夫 ・年表を基に書き出した予想をグループで話し合いながら、問いを設定し、学習計画を立てられるようにする。
しらべる	〈目指す児童像〉 ・ザビエルによってキリスト教が伝えられ、我が国に広がったことや、織田信長	【時間的】 ・織田信長はどのようにして全国を統一しようとしたのだろう。	○人物の業績を具体的に捉えられる教材 ・「織田信長の政策」「豊臣秀吉の政策」 ⇒政治面、経済面、武力	○学びの振り返りから、社会認識を深める工夫 ・ここまでの学習問題に対する振り返りをまとめられるようにするために、

	<p>が短い期間に領地を拡大したことや、豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を行ったことによって、戦国の世が統一されたことを理解している。</p>	<p>【時間的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊臣秀吉はどのようにして全国を統一しようとしたのだろう。 <p>【关系的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国統一をするためにどのようなことが大切だったのだろう。 	<p>面などについて具体的に分かる教材</p> <p>○多角的に歴史的事象を考えられる教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 「織田信長の年表」 「豊臣秀吉の年表」 <p>⇒時間的に人物の業績が分かる教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 「織田信長の勢力図」 「豊臣秀吉の勢力図」 <p>⇒空間的に人物の業績が分かる教材</p>	<p>1時間ごとに学習した内容を振り返る。</p> <p>○問題解決的な中で対話的に学ぶための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べた事実を同心円チャートにまとめ、織田信長や豊臣秀吉の思いや願いを話し合うことにより、自分の考えを深められるようにする。 <p>○問題解決的な学習活動の中で対話的に学ぶための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 織田信長と豊臣秀吉の業績について共通点と相違点をベン図に整理し、その理由を発表することで、本時の問いにより迫れるようにする。
ま と め る	<p>〈目指す児童像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 織田信長と豊臣秀吉が、天下統一に向けて行ったことなどを関連付けたり総合したりして、彼らの役割について考えている。 	<p>【关系的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを関連付けて、学習問題について考え、表現する。 		<p>○問題解決的な学習活動の中で対話的に学ぶための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童のノート・同心円チャート・ベン図等を用いて、学習したことをキャッチコピーにまとめ、その理由を全体で話し合うことにより、自分の考えを深めていく。

(3) 児童に育成させる資質・能力の評価方法の工夫

①互いのよさを認め合う評価の工夫（話し合いの見取り表の活用）

グループでの話し合いは、3～4人で行い、調べる段階やまとめる段階では、話し合った内容を同心円チャートやベン図に整理させていくことにより、話し合いが可視化され内容の質が高まっていくと考えた。また、教師は、話し合いの見取り表（話し合いにおいて児童の発言を順に記録する表）を使うことで、話し合いの過程や内容が把握しやすくなり、形成的な評価に生かせるようになったと考えた。

②振り返りの工夫

振り返りの工夫として調べる段階やまとめる段階において、つかむ段階で記述した「学習問題に対する予想」と1時間ごとの学習内容を比べて考えたことを記述するようにさせる。学習後に学習問題について振り返ることで、今日の学習がどこまで解決したかをふりかえることができると考えた。また、年表に書かれた自分の予想を確認しながら描くことで、自らの考えの変容にも気付けると考えた。

6 小単元の指導計画と評価計画（6時間扱い）

過	ねらい	○主な学習活動	問問	教師の指導・支援
---	-----	---------	----	----------

程	(数字は時数)	・予想される児童の反応	(□留意点◎資料◇評価)
つかむ	<p>①「長篠合戦図」と「豊臣期大阪図屏風」の城周辺の様子を比較し、世の中の様子が劇的に変化したことをつかみ、学習問題を設定することができる。</p>	<p>○資料を提示し、本時のめあてを設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時代の違う二つの城の様子を見て気付いたことから学習問題をつくろう。</p> <p>○「長篠合戦図屏風」の城周辺の様子を見て、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの武士が戦っている。 ・城にたくさんの武士がいる。 ・山などの地形を使って戦っている。 <p>○「豊臣期大阪城図屏風」の城周辺の様子を見て、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町にはたくさんの人々が歩いている。 ・商売をしている人がいる。 ・たくさんの家が並んでいる。 <p>○「長篠合戦図屏風」と「豊臣期大阪城図屏風」のそれぞれが描かれた時代の全国の勢力図を比べ、疑問を出し合い学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして一人の武将が全国を統一できたのか。 ・たくさんいた武将はどうなったのだろうか。 ・武将同士の多くの争いがあった末に全国は統一されたのだろうか。 <p style="border: 3px double black; padding: 2px;">だれが、どのようにして、全国を統一していったのだろうか。</p> <p>○学習問題について予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力の強い武将が統一をしたのではないか。 ・いろいろな政策を利用して全国を統一したのではないか。 	<p>(□留意点◎資料◇評価)</p> <p>◎長篠合戦図屏風 (写真)</p> <p>□戦いが起きていた様子に着目させる。</p> <p>◎豊臣期大阪城図屏風 (写真)</p> <p>□平和な様子に着目させる。</p> <p>□どちらの資料も、人・建物・土地の様子などの観点に着目させる。</p> <p>◎長篠合戦図屏風の時代の勢力図 (写真)</p> <p>◎豊臣期大阪図屏風の時代の勢力図 (写真)</p> <p>□どうして図屏風に描かれた様子が変わったのかに着目させる。</p> <p>◇戦国の世が統一されたことについて関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を考え、表現している。</p>
	<p>②戦国の世が統一されたことに関心をもち、学習問題と年表を基にして学習計画を立てる。</p>	<p>○前時の学習を振り返り、学習問題と年表を基に本時のめあてをつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学習問題と年表を基に予想をし、学習計画を立てよう。</p> <p>○年表を基にしてどのようなことを調べていくかを考え、グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長は、どのような戦いをして全国を統一しようとしたのか調べよう。 ・なぜ豊臣秀吉は全国を統一できたのか調べよう。 <p>○これから調べていくことを全体で話し合い、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長と豊臣秀吉の働きを中心に調べていく。 	<p>◎織田信長・豊臣秀吉 (肖像画)</p> <p>◎織田信長・豊臣秀吉の年表 (文書資料)</p> <p>□年表に書かれていることを根拠に予想をし、グループで話し合いながら整理させる。</p> <p>□話し合った内容を短冊に整理し、次時以降の見通しをもたせる。</p> <p>◇織田信長や豊臣秀吉のしたことを基にして学習計画を考え、表現している。</p>

	<p>③織田信長が天下統一に向けて行った政策について理解する。</p>	<p>○織田信長の年表と勢力図を基に、本時のめあてをつかみ予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦いを中心に勢力を広げたのではないか。 ・城を中心に力を付けていったのではないか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>織田信長はどのようにして全国を統一しようとしたのだろう。</p> </div> <p>○織田信長が天下統一に向けて行った政策を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有名な大名を倒して勢力を広げた。 ・室町幕府を滅ぼした。 ・仏教勢力を武力で押さえた。 ・キリスト教を認めた。 ・安土城を築いた。 ・楽市・楽座を認めた。 <p>○調べたことを基に、織田信長の思いや願いについて考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工業を盛んにして資金を集めていたのではないか。 ・有力な武将を倒すことで短期間に勢力を広げたのではないか。 	<p>◎織田信長の年表（文書資料）</p> <p>◎織田信長の勢力図の変化（写真）</p> <p>□年表や勢力図を手掛かりに、織田信長の勢力の変化に着目させる。</p> <p>◎安土城・楽市楽座（絵図）</p> <p>◎ザビエル（肖像画）</p> <p>◎織田信長の政策（文章資料）</p> <p>◎同心円チャート</p> <p>□調べて分かったことを同心円チャートに整理させ、思いや願いを話し合わせる。</p> <p>◇ザビエルによってキリスト教が伝えられ我が国に広がったこと、鉄砲を多用して織田信長が短い期間に領地を拡大したことなどについて地図や年表、その他の資料を活用して調べ、まとめている。（ノート）</p>
調べる	<p>④豊臣秀吉が天下統一に向けて行った政策について理解する。</p>	<p>○豊臣秀吉の年表と勢力図を基に、本時のめあてをつかみ予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長と同じで戦いを中心に勢力を広げたのではないか。 ・織田信長のやり方を参考したのではないか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>豊臣秀吉はどのようにして全国を統一しようとしたのだろう。</p> </div> <p>○豊臣秀吉が天下統一に向けて行った政策を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明智光秀を倒した。 ・大阪城を政治の拠点とした。 ・全国の大名を従えた。 ・検地をして年貢をとった。 ・刀狩をして武器を取り上げた。 ・キリスト教は禁止した。 <p>○調べたことを基に、豊臣秀吉の思いや願いについて考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなきまりをつくることで民衆を支配したのではないか。 ・年貢を納めさせて財政を安定させたのではないか。 	<p>◎豊臣秀吉の年表（文書資料）</p> <p>◎豊臣秀吉の勢力図の変化（写真）</p> <p>□年表や勢力図を手掛かりに、豊臣秀吉の勢力の変化に着目させる。</p> <p>◎検地令条文、検地の想像図（文書資料・写真）</p> <p>◎刀狩令条文（文書資料）</p> <p>◎豊臣秀吉の政策（文章資料）</p> <p>◎同心円チャート</p> <p>□調べて分かったことを同心円チャートに整理させ、思いや願いを話し合わせる。</p> <p>◇豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を行ったことなどについて地図や年表、その他の資料を活用して調べ、まとめている。（ノート）</p>

調べる	<p>⑤織田信長と豊臣秀吉の政策を比較し、ベン図にまとめて話し合う活動を通し、共通点や相違点から秀吉・信長の天下統一に向けた思いや願いを考え、表現する。 (本時)</p>	<p>○前時までの学習を振り返り、織田信長と豊臣秀吉が全国を統一するために行ったことを比べ、その違いから本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">織田信長と豊臣秀吉を比べてみよう。</div> <p>○織田信長と豊臣秀吉の行ったことをまとめた同心円チャートを基に、全国を統一するために行ったことの共通点や相違点をベン図に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人とも経済を盛んにしようとした。 ・キリスト教に対して、二人は異なる政策を行った。 <p>○ベン図に整理した共通点や相違点をグループで話し合う。</p> <p>○各グループで話し合った結果を全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天下統一へ向けて、織田信長と豊臣秀吉は、経済やキリスト教などについて対策をとろうとしていた。 <p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天下統一へ向けて、経済やキリスト教などについて二人は考えていたが、それぞれやり方が違うと思った。 	<p>◎織田信長・豊臣秀吉の年表</p> <p>◎ベン図</p> <ul style="list-style-type: none"> □ベン図にまとめる前に共通点を何点か確認させる。 □個人でベン図に考えをまとめる。 □同心円チャートを根拠に二人の行動の違いについて整理させる。 □グループごとにお互いのベン図を比較し、何に着目してベン図を書いたか話し合わせる。 <p>◇織田信長や豊臣秀吉の業績や天下統一に対する思いや願いについて調べ、人物の業績を考え、文書等で説明したり、話し合ったりしている。(ノート・発言)</p> <p>※学習問題を振り返り、自分の考えを確認しながら学習感想を書かせる。</p>
まとめる	<p>⑥学習問題に対するまとめを発表する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">調べたことを整理し、学習問題に対する考えをまとめよう。</div> <p>○学習問題に対して、調べたことを基に話し合い、織田信長と豊臣秀吉の働きをキャッチコピーにまとめ、自分の考えを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長…新しいものを使って天下統一へ ・豊臣秀吉…天下統一後に社会の仕組みを整理 <p>○学習問題に対する考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長と豊臣秀吉は大名や農民等の支配を目指して、織田信長は新しく伝わった鉄砲を利用するなど戦いの仕方を工夫し、短い期間で領地を拡大した。豊臣秀吉は検地や刀狩りを行い、社会の仕組みを整えた。その結果、戦いが減り、戦国の世が統一された。 <p>○戦国の世が統一されたことについて、学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長と豊臣秀吉のどちらも天下統一を目指していたが、豊臣秀吉が天下統一を果たした。 ・様々な社会の仕組みが整って天下は統一されていった。 	<p>◎児童のノート・同心円チャート・ベン図</p> <ul style="list-style-type: none"> □どうしてそのキャッチコピーを考えたのか整理をさせる。 □織田信長と豊臣秀吉のねらっていたことは同じだが、行ったことが違っていたことに着目させる。 □文型を示し、考えを明確にしながら話し合えるようにする。 <p>◇織田信長や豊臣秀吉の業績を考え、文書等で説明したり話し合ったりしている。(ノート)</p>

7 本時の指導（5／6時）

(1) 本時のねらい

織田信長と豊臣秀吉の政策を比較し、ベン図にまとめて話し合う活動を通し、共通点や相違点から秀吉・信長の天下統一に向けた思いや願いを考え、表現する。

(2) 本時の展開

○主な学習活動 ・予想される児童の反応	□資料 ※指導上の留意点 ◇評価
<p>○前時までの学習を振り返り、織田信長と豊臣秀吉が全国を統一するために行ったことを比べ、その違いから本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長は全国の有力な大名を倒して勢力を広げた。 ・豊臣秀吉は農民に対して様々な政策を行った。 	<p>※第3時と第4時でまとめた同心円チャートや年表を基に、それぞれの人物の働きを確認させる。</p> <p>□織田信長・豊臣秀吉の年表（文書資料）</p>
<p>織田信長と豊臣秀吉を比べてみよう。</p>	
<p>○織田信長と豊臣秀吉の行ったことをまとめた同心円チャートを基に、全国を統一するために行ったことの共通点や相違点をベン図に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人とも拠点として城を築いている。 ・織田信長は戦い方を工夫して武力を基に全国に勢力を広げていった。 ・豊臣秀吉もいくつかの戦いを経て全国を統一した。 ・織田信長は商工業を発展させるために楽市・楽座や関所の廃止などの政策を行った。 ・豊臣秀吉は検地や刀狩や身分の区別などの政策を行った。 ・織田信長はキリスト教を保護して学校や教会をつくった。また、仏教勢力は武力で押さえ込んだ。 ・豊臣秀吉はキリスト教を認めなかった。 <p>○ベン図に整理した共通点や相違点をグループで話し合う。</p> <p>○各グループの話し合いの結果について全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長も豊臣秀吉も、経済やキリスト教について考えた取り組みをしていた。 ・どちらも、大名や農民を支配することを目指していた。 <p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田信長も豊臣秀吉も、天下統一に向けて様々な取り組みをしたけれど、経済やキリスト教に対して考えて対策を立てているが、やり方が違うことに興味をもった。 	<p>□ベン図</p> <p>※織田信長と豊臣秀吉の政策に違いがあることを押さえ、比較の仕方を確認させる。</p> <p>※個人でベン図に考えをまとめる。</p> <p>※同心円チャートを根拠に二人の行動の違いについて整理させる。</p> <p>※グループごとにお互いのベン図を比較し、どのような意図でベン図を書いたか話し合わせる。</p> <p>※代表で1グループに発表させ、それについての様々な意見を黒板に整理する。</p> <p>◇織田信長や豊臣秀吉の業績や天下統一に対する思いや願いについて調べ、人物の業績を考え、文書等で説明したり、話し合ったりしている【思考・判断・表現】。（ノート・発言）</p> <p>※学習問題を振り返り、自分の考えを確認しながら学習感想を書かせる。</p>

7 板書計画

<p>織田信長と豊臣秀吉を比べてみよう。</p>			
<p>織田信長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊臣秀吉の年表 	<p>二人の似ているところ</p>	<p>二人の似ていないところ</p>	<p>児童のベン図</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・二人ともいくつかの政策を基に全国を統一した。 ・二人とも城を築き、そこから政策や戦いを進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な政策を行ったが、その内容や方法は違っている。 ・キリスト教に対する考え方は違っていた。 	